

ゾコーバの適応

- ・当院で新型コロナウイルス陽性と診断された
- ・発症日から 72 時間以内である
- ・妊娠・授乳中でない
- ・12 歳以上である
- ・次ページ以降に記載のある併用禁忌、併用注意のお薬を内服していない。

次ページに続く……

注意-緊急承認医薬品

抗SARS-CoV-2剤

薬価基準収載

市販直後調査

2022年11月~2023年5月

注意-緊急承認医薬品

日本標準商品分類番号 87625

医薬品リスク管理計画対象製品

ゾコーバ錠 125mg

XOCOVA®

エンシトレルビル フマル酸錠

劇薬、処方箋医薬品^{注)}^{注)}注意-医師等の処方箋により使用すること

医療関係者用

併用禁忌薬・併用注意薬 一覧表

ゾコーバ®錠の投与に際しては、最新の電子添文を必ずご確認ください。

本剤と他の薬剤との相互作用はすべての薬剤との組み合わせについて検討されているわけではありません。

他剤による治療中に新たに本剤を併用したり、本剤による治療中に新たに他の薬剤を併用する場合には、用量に留意して慎重に投与してください。

本剤はCYP3A基質であり、強いCYP3Aの時間依存的阻害作用※を有します。CYP3Aの時間依存的阻害作用※は、本剤投与終了後も一定期間持続します。また、P-gp、BCRP、OATP1B1及びOATP1B3の阻害作用を有します。

下記表内の薬剤以外にも、これらの代謝酵素やトランスポーターによって代謝・排出される薬剤と併用する場合は注意をしてください。

※承認用量より高い用量（1日目は750mg、2日目から5日目は250mg）で実施されたCYP3A基質であるデキサメタゾンに対する薬物相互作用試験において、本剤投与5日目にC_{max}及びAUCはそれぞれ1.47倍及び3.47倍に増大したが、本剤最終投与から10日目においてはC_{max}及びAUCはそれぞれ1.17倍及び1.58倍となった。

併用禁忌薬

本剤とこれらの薬剤の併用は禁忌です

電子添文に記載されている薬効分類名とは異なる表現が含まれています。
注釈のないものは本剤のCYP3A阻害作用の影響を受けるおそれのある薬剤です。

薬効分類名	薬剤名等	効能または効果
抗精神病薬	<input type="checkbox"/> ピモジド(オーラップ)	◆統合失調症 ◆小児の自閉性障害、精神遅滞に伴う諸症状
	<input type="checkbox"/> ブロナンセリン(ロナセン)	◆統合失調症
	<input type="checkbox"/> ルラシドン塩酸塩(ラゾダ)	◆統合失調症 ◆双極性障害におけるうつ症状の改善
抗不整脈薬	<input type="checkbox"/> キニジン硫酸塩水和物	◆期外収縮(上室性、心室性) ◆発作性頻拍(上室性、心室性) ◆新鮮心房細動、発作性心房細動の予防、陳旧性心房細動 ◆心房粗動 ◆電気ショック療法との併用及びその後の洞調律の維持 ◆急性心筋梗塞時における心室性不整脈の予防
頻脈性不整脈・狭心症治療薬	<input type="checkbox"/> ベプリジル塩酸塩水和物(ベプリコール)	◆下記の状態で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合 持続性心房細動、頻脈性不整脈(心室性) ◆狭心症
抗血小板薬	<input type="checkbox"/> チカグレロル(ブリリント)	【ブリリント錠90mg】 ◆経皮的冠動脈形成術(PCI)が適用される急性冠症候群(不安定狭心症、非ST上昇心筋梗塞、ST上昇心筋梗塞) (ただし、アスピリンを含む抗血小板剤2剤併用療法が適切である場合かつ、アスピリンと併用する他の抗血小板剤の投与が困難な場合に限る) 【ブリリント錠60mg】 ◆以下のリスク因子を1つ以上有する陳旧性心筋梗塞のうち、アテローム血栓症の発現リスクが特に高い場合 65歳以上、薬物療法を必要とする糖尿病、2回以上の心筋梗塞の既往、血管造影で確認された多枝病変を有する冠動脈疾患、又は末期でない慢性の腎機能障害
選択的アルドステロンブロッカー	<input type="checkbox"/> エプレノン(セララ)	【セララ25mg、50mg、100mg】 ◆高血圧症 【セララ25mg、50mg】 ◆下記の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害薬又はアンジオテンシンII受容体拮抗薬、β遮断薬、利尿薬等の基礎治療を受けている患者 慢性心不全

薬効分類名	薬剤名等	効能または効果
頭痛治療薬	<input type="checkbox"/> エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン(クリアミン) <input type="checkbox"/> ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩	◆血管性頭痛、片頭痛 ◆緊張性頭痛(クリアミンのみ) ◆起立性低血圧(ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩のみ)
子宮収縮薬	<input type="checkbox"/> エルゴメトリンマレイン酸塩※ <input type="checkbox"/> メチルエルゴメトリンマレイン酸塩(パルタンM)※	◆子宮収縮の促進ならびに子宮出血の予防及び治療 (※電子添文に記載されている効能又は効果と異なる表現が含まれています。)
高脂血症治療薬	<input type="checkbox"/> シンバスタチン(リポバス) <input type="checkbox"/> ロミタピドメシル酸塩(ジャクスタピッド)	◆高脂血症、家族性高コレステロール血症 ◆ホモ接合体家族性高コレステロール血症
睡眠導入薬	<input type="checkbox"/> トリアゾラム(ハルシオン)	◆不眠症 ◆麻酔前投薬
グレリン様作用薬	<input type="checkbox"/> アナモレリン塩酸塩(エドルミズ)	◆下記の悪性腫瘍におけるがん悪液質 非小細胞肺癌、胃癌、膵癌、大腸癌
HCNチャネル遮断薬	<input type="checkbox"/> イバブラジン塩酸塩(コララン)	◆洞調律かつ投与開始時の安静時心拍数が75回/分以上の慢性心不全 ただし、β遮断薬を含む慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る
抗悪性腫瘍薬	<input type="checkbox"/> ベネトクラクス [再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)の用量漸増期)(ベネクレクスタ)	◆再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む) ◆急性骨髄性白血病
	<input type="checkbox"/> イブルチニブ(イムブルピカ)	◆慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む) ◆再発又は難治性のマンツル細胞リンパ腫 ◆造血幹細胞移植後の慢性移植片対宿主病(ステロイド剤の投与で効果不十分な場合)
	<input type="checkbox"/> アパルタミド(アーリーダ)※ ¹	◆遠隔転移を有しない去勢抵抗性前立腺癌 ◆遠隔転移を有する前立腺癌
	<input type="checkbox"/> エンザルタミド(イクスタンジ)※ ²	◆去勢抵抗性前立腺癌 ◆遠隔転移を有する前立腺癌
	<input type="checkbox"/> ミトタン(オペプリム)※ ²	◆副腎癌 ◆手術適応とならないクッシング症候群
降圧薬	<input type="checkbox"/> アゼルニジピン(カルブロック) <input type="checkbox"/> アゼルニジピン・オルメサルタンメドキシミル(レザルトス配合錠)	◆高血圧症
不眠症治療薬	<input type="checkbox"/> スポレキサント(ベルソムラ)	◆不眠症
肺高血圧症治療薬	<input type="checkbox"/> タダラフィル(アドシルカ) <input type="checkbox"/> リオシグアト(アデムパス)※ ³	◆肺動脈性肺高血圧症 ◆外科的治療不適応又は外科的治療後に残存・再発した慢性血栓性肺高血圧症 ◆肺動脈性肺高血圧症
勃起不全治療薬	<input type="checkbox"/> バルデナフィル塩酸塩水和物(レビトラ)※	◆勃起不全 (※電子添文に記載されている効能又は効果と異なる表現が含まれています。)
抗酸菌症治療薬	<input type="checkbox"/> リファブチン(ミコブチン)	◆結核症 ◆マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス(MAC)症を含む非結核性抗酸菌症 ◆HIV感染患者における播種性MAC症の発症抑制
非ステロイド型選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬	<input type="checkbox"/> フィネレノン(ケレンディア)	◆2型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く。

※1: CYP3A誘導作用により本剤の血中濃度を低下させるおそれのある薬剤。また、本剤のCYP3A阻害作用により影響を受けるおそれのある薬剤。

※2: CYP3A誘導作用により本剤の血中濃度を低下させるおそれのある薬剤。

※3: 本剤のCYP3A阻害及びP-gp/BCRP阻害作用により影響を受けるおそれのある薬剤。

相互作用検索ツールを公開しております。
是非お役立てください。

<https://www.shionogi.co.jp/med/xocova/interaction/>



併用禁忌薬

電子添文に記載されている薬効分類名とは異なる表現が含まれています。
注釈のないものは本剤のCYP3A阻害作用の影響を受けるおそれのある薬剤です。

薬効分類名	薬剤名等	効能または効果
選択的 直接作用型 第Xa因子阻害薬	□ リバーロキサバン (イグザレルト) ^{※1}	【成人】◆非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 ◆静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制 【小児】◆静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制
抗てんかん薬	□ カルバマゼピン(テグレートル) ^{※2}	◆精神運動発作、てんかん性格及びてんかんに伴う精神障害、てんかんの痙攣発作:強直間代発作(全般痙攣発作、大発作) ◆躁病、躁うつ病の躁状態、統合失調症の興奮状態 ◆三叉神経痛
	□ フェニトイン (ヒダントール、アレビアチン) ^{※3}	【経口薬】◆てんかんのけいれん発作:強直間代発作(全般けいれん発作、大発作)、焦点発作(ジャクソン型発作を含む) ◆自律神経発作 ◆精神運動発作 【注射薬】◆てんかん様けいれん発作が長時間引き続いて起こる場合(てんかん発作重積症) ◆経口投与が不可能でかつけいれん発作の出現が濃厚に疑われる場合(特に意識障害、術中、術後) ◆急速にてんかん様けいれん発作の抑制が必要な場合
	□ ホスフェニトインナトリウム水和物 (ホストイン) ^{※3}	◆てんかん重積状態 ◆脳外科手術又は意識障害(頭部外傷等)時のてんかん発作の発現抑制 ◆フェニトインを経口投与しているてんかん患者における一時的な代替療法
抗結核薬	□ リファンピシン(リファジン) ^{※3}	◆肺結核及びその他の結核症 ◆マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス (MAC)症を含む非結核性抗酸菌症 ◆ハンセン病
食品など	□ セイヨウオトギリソウ(St.John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品 (ハーブティー、サプリメントなど) ^{※3}	

併用注意薬

薬効分類	薬剤名等
□ 副腎皮質ステロイド	◆ブデソニド ◆シクレソニド ◆デキサメタゾン ◆メチルプレドニゾロン
□ オピオイド系鎮痛薬	◆フェンタニル◆フェンタニルクエン酸塩 ◆オキシコドン塩酸塩水和物 ◆メサドン塩酸塩
□ 免疫疾患治療薬	◆シクロスポリン ◆タクロリムス水和物
□ 高脂血症治療薬	◆アトルバスタチンカルシウム水和物 ◆ロスバスタチンカルシウム ^{※4}
□ 催眠鎮静剤	◆ミダゾラム
□ 疼痛治療薬	◆ブプレノルフィン塩酸塩
□ 片頭痛治療薬	◆エトリプタン臭化水素酸塩
□ 降圧薬	◆ニフェジピン ◆フェロジピン
□ 抗不整脈薬	◆ベラパミル塩酸塩 ◆ジソピラミド
□ 抗精神病薬	◆ハロペリドール ◆アリピプラゾール ◆クエチアピンフマル酸塩
□ 抗凝固薬	◆ワルファリンカリウム ◆アピキサバン ◆シロスタゾール ◆ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩 ^{※5}

※1:本剤のCYP3A阻害及びP-gp阻害作用の影響を受けるおそれのある薬剤。

※2:CYP3A誘導作用により本剤の血中濃度を低下させるおそれのある薬剤。また、本剤のCYP3A阻害作用により影響を受けるおそれのある薬剤。

※3:CYP3A誘導作用により本剤の血中濃度を低下させるおそれのある薬剤。

※4:本剤のBCRP阻害、OATP1B1阻害及びOATP1B3阻害作用により影響を受けるおそれのある薬剤。

※5:本剤のP-gp阻害作用により影響を受けるおそれのある薬剤。

薬効分類	薬剤名等
<input type="checkbox"/> 抗悪性腫瘍薬	◆ビンカルカロイド系抗悪性腫瘍薬(ビンクリスチン硫酸塩、ビンブラスチン硫酸塩) ◆ドセタキセル ◆エベロリムス ◆テムシロリムス ◆ゲフィチニブ ◆ダサチニブ水和物 ◆エルロチニブ塩酸塩 ◆ラパチニブトシル酸塩水和物 ◆ボルテゾミブ ◆イマチニブメシル酸塩 ◆スニチニブリンゴ酸塩 ◆ボスチニブ水和物 ◆カバジタキセル ◆クリゾチニブ ◆シロリムス ◆パノビノスタット乳酸塩 ◆ポナチニブ塩酸塩 ◆ルキシロチニブリン酸塩 ◆アキシチニブ ◆ニロチニブ塩酸塩水和物 ◆ベネトクラクス(再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)の維持投与期、急性骨髄性白血病) ◆イリノテカン塩酸塩水和物
<input type="checkbox"/> 勃起不全治療薬	◆シルデナフィルクエン酸塩 ◆タダラフィル(シアリス)
<input type="checkbox"/> 前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬	◆タダラフィル(ザルティア)
<input type="checkbox"/> 痛風・家族性地中海熱治療薬	◆コルヒチン
<input type="checkbox"/> 抗ウイルス薬	◆マラビロク ◆エファビレンツ ^{※1} ◆エトラビルン ^{※1}
<input type="checkbox"/> 制吐薬	◆アプレピタント
<input type="checkbox"/> 腸運動抑制薬	◆ロペラミド塩酸塩
<input type="checkbox"/> 気管支拡張薬	◆サルメテロールキシナホ酸塩
<input type="checkbox"/> カルシウム受容体作動薬	◆シナカルセト塩酸塩
<input type="checkbox"/> 抗不安薬	◆アルプラゾラム
<input type="checkbox"/> 不眠症治療薬	◆ゾピクロン
<input type="checkbox"/> 過活動膀胱治療薬	◆トルテロジン酒石酸塩
<input type="checkbox"/> 尿失禁・尿意切迫感・頻尿治療薬	◆オキシブチニン塩酸塩
<input type="checkbox"/> ADHD治療薬	◆グアンファシン塩酸塩
<input type="checkbox"/> 子宮内膜症治療薬 子宮腺筋症に伴う疼痛改善治療薬	◆ジエノゲスト
<input type="checkbox"/> 抗真菌薬	◆イトラコナゾール
<input type="checkbox"/> ジギタリス製剤	◆ジゴキシン ^{※2}
<input type="checkbox"/> 肺高血圧症治療薬	◆ボセンタン水和物 ^{※3}
<input type="checkbox"/> 催眠・鎮静・抗けいれん薬	◆フェノバルビタール ^{※1}
<input type="checkbox"/> 抗てんかん薬	◆プリミドン ^{※1}
<input type="checkbox"/> 葉酸代謝拮抗薬	◆メトトレキサート ^{※4}

※1: CYP3A誘導作用により本剤の血中濃度を低下させるおそれのある薬剤。

※2: 本剤のP-gp阻害作用により影響を受けるおそれのある薬剤。

※3: CYP3A誘導作用により本剤の血中濃度を低下させるおそれのある薬剤。また、本剤のCYP3A阻害作用により影響を受けるおそれのある薬剤。

※4: *in vitro* 試験から本剤のOAT3阻害作用により影響を受けるおそれのある薬剤。

各薬剤の詳細については最新の電子添文をご参照ください。

製造販売元 [文献請求先及び問い合わせ先]



塩野義製薬株式会社

大阪市中央区道修町3-1-8
医薬情報センター TEL 0120-956-734

SHIONOGI

XCV-C-0006(V04)審503358
2023年3月作成